

令和 8 年 1 0 月 1 日
関東運輸局埼玉運輸支局

モーダルシフト促進のための埼玉県内企業向け 『貨物ターミナル駅見学会』の開催について

物流業界の人手不足が深刻な社会問題となる中、関東運輸局埼玉運輸支局・埼玉県・物流事業者など合わせて 23 団体による「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」を実施し、関係者が連携して、持続可能な物流体制の構築に向けた取組を推進しています。

このたび、取組の一環として宣言の構成団体である日本貨物鉄道株式会社関東支社と連携して貨物ターミナル駅の見学会を開催します。荷主企業、物流事業者の皆さまの御参加をお待ちしています。

●開催概要

1 開催目的

物流の人手不足対策と温室効果ガス削減には、トラック輸送から環境負荷が少なく大量輸送に適した鉄道や船舶に転換する「モーダルシフト」が有効な手段です。

そこで、モーダルシフトへの機運醸成に向け、県内の荷主企業、物流事業者へ貨物鉄道輸送の有効性を周知します。

2 日時

令和 8 年 1 1 月 1 6 日（月） 1 4 時 0 0 分～ 1 7 時 0 0 分

3 場所

第 1 部（講演会）：熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室
（熊谷市筑波 3 丁目 202 番地 ティアラ 21 4 階）

第 2 部（見学会）：日本貨物鉄道株式会社熊谷貨物ターミナル駅
（熊谷市久保島 1080 番地）

4 主催・共催等

主催：日本貨物鉄道株式会社関東支社

共催：関東運輸局埼玉運輸支局、埼玉県、一般社団法人埼玉県トラック協会

後援：関東財務局、関東経済産業局、埼玉労働局、関東農政局

5 実施内容

第 1 部（講演会） 1 4 時 0 0 分～ 1 5 時 0 0 分

- ・モーダルシフト推進に向けた支援制度の活用について（関東運輸局）
- ・JR 貨物の概要と取組について（日本貨物鉄道株式会社関東支社）
- ・貨物鉄道輸送の活用事例について（大成ユーレック株式会社）

第2部（見学会） 15時30分～16時30分

・JR 貨物熊谷貨物ターミナル駅

（駅構内施設、コンテナ積卸作業デモ、コンテナ等の見学）

6 対象

埼玉県内に本社や事業所等を有する荷主企業、物流事業者

7 定員

50名

8 参加費

無料

9 応募方法

以下の URL または二次元コードからお申し込みください

※定員に達し次第締め切らせていただきます。

<https://forms.cloud.microsoft/r/2LCPhBeC20?origin=lprLink>



●「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」について

令和6年4月からドライバーの時間外労働時間の上限が年960時間となり、働き方改革が進む一方、物流業界における人手不足が喫緊の課題となっています。

物流は県民生活を支える重要な社会インフラであり、埼玉県では令和6年9月3日付けで国、経済団体、物流業界団体、物流事業者、消費者団体など合わせて23団体による「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」を実施し、持続可能な物流体制の構築に向けて関係者が連携して取組を講じています。

詳しくは、以下の URL を御確認ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/logistics-support.html>

【問合せ先】

（参加申込、当日の取材申込、見学会の開催に関すること）

日本貨物鉄道株式会社関東支社 営業部 石井

電話 050-2017-4143

（「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」等、県の取組に関すること）

埼玉県産業労働部産業労働政策課 戦略会議担当 相澤、今西

電話 048-830-3702

（モーダルシフト等推進事業に関すること）

関東運輸局埼玉運輸支局 総務企画担当 野房、柴山

電話 048-624-1835（音声案内中に『5』をプッシュしてください）

【配布先】物流専門紙